

**企業実習は絶対にあつた方がよい。面接で伝わらないことが、
企業実習では伝わります。**

金属加工は、女性でも十分やっていける仕事だと思います。

山陽鉄工株式会社のU・Y様（30代・女性）に、職業訓練や現在の仕事についてお話を伺いました。U・Y様は、金属加工技術科（短期デュアルコース）を修了後、平成29年6月に企業実習先に正社員として採用されました。

さらに、取締役社長 村井 正己 様、総務部長 I 様、直属の上司のO様に、採用の決め手や女性の採用などについてお話を伺いました。



■ U・Y様にお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- － アルミのT i g溶接、製缶を担当しています。

◇就職されて8ヶ月ほどになりますが、いかがですか？

- － ポリテクセンターで職業訓練を受けて正解でした。入社できたのも奇跡だと思っています。日々感謝しています。

◇前職は？

- － パートタイマーで金属製品の仕上げを担当していました。レーザー加工後、グラインダでのバリ取り、面取り、梱包など、1年9ヶ月経験しました。その前は、鋳造業での仕上げや小売店で販売も経験しました。

◇職業訓練受講のきっかけは？

- － これから子どもの教育費などが増えるので、安定した職業に就きたいと思いました。ハローワークで相談したところ、職業訓練の受講を勧められました。母や母の友人が受講したので、ポリテクセンターのことは知っていましたが、金属加工のコースがあることは知りませんでした。母の友人からも「すごく楽しい。受講したらいい。」とずっと勧められていました。それに、就職支援のことがパンフレットに書いてあり、サポートしてもらえるので飛びつきました。雇用保険を受給しながら6ヶ月間受講しても生活ができる状態になったので、受講を決意しました。

◇金属加工を希望されたのは？

- 一 金属加工の仕事は、まずしっかり考えてから作業をするので、自分に合っていると思いました。事務や販売の仕事は、その場ですぐに判断しなければならないことが多いので、自分には向いていないと思います。それと、工場勤務なので、土・日など子どもが休みの日に休めること、緊急で休まなければならないときでも他の人をお願いできることから、家庭と両立できる仕事だと思いました。販売だと、土・日は出勤ですし、代わり的人がいないので、急に休むことができません。

◇受講前に不安に思ったことは？

- 一 前の職場に溶接ブースがあって、見ていたら自分も溶接をしたくなりました。完成品を見て、どういう風にできているのか、未知の世界に興味を持ちました。しかし、パートだったので、溶接をやりたいと言えませんでした。男性が多く、女性には敷居の高い仕事だと思っていましたし、自分にできるかという不安もありました。

でも、女性がしていない、そういう仕事をしたという気持ちが強くなりました。できないことをしている方が自分にプラスになると思いました。きれいな溶接を見ると、うわ〜、すごいと感動しました。のりやボンドで紙やプラスチックをくっつけるのと違い、金属をくっつけるには専門的な技術が必要なところに魅力を感じました。

受講前に他に女性の受講者はいないだろうなと思っていました。女性が私一人でも、不安はありませんでした。余計なことを考えなくていいので、かえって気が楽かなと思っていました。

◇企業実習の感想は？

- 一 企業実習は、就職活動と違って、1社しか選択できないので、実習先で就職できなかったらと思うと、大きな不安がありました。企業実習が付いていない溶接技術科の友人が「企業実習はなくていい」と言うので、実習に行かずに就職した方がいいのではないかともしました。

でも、企業実習後、私もその友人も、企業実習は絶対あった方がよいと考えが変わりました。自分の働きぶりを企業実習期間中に見てもらえるし、受講者もその企業のことをよく知ることができるので、互いにメリットがあると思います。面接で伝わらないことが、企業実習では伝わります。



(企業実習の初期)



(企業実習の後半)

◇職業訓練を受講して、今の仕事に役立っていることは？

- 一 機械の使い方や作業前の準備、溶接の基礎がわかっていること、入社前に溶接の資格を取得していることです。

◇就職を決定された決め手は？

- 一 前職のときから会社の存在を知っていて、興味がありました。私は溶接の職務経験がないので、イチから全部教えてもらえるところに惹かれました。

◇女性の就業先としては？

- 一 金属加工は、女性でも十分やっていける仕事だと思います。汚い、体力がないからできない、しんどいというイメージがあるかもしれませんが、経験なく就職する人も多く、金属加工の仕事に興味があるかどうかです。

◇今後の目標は？

- 一 仕事に必要な資格は全部取得したいと思っています。「溶接をしています」と胸を張って堂々と言える、そして周囲に認めてもらえるレベルの技術者になりたいです。特に、アルミの溶接に長けた人材になりたいです。

◇就職活動中の方や職業訓練の受講を検討されている方にメッセージをお願いします。

- 一 経験やスキルがなくて就職するより、専門的な知識・技術、資格を得たうえで、就職した方がいいと思います。ポリテクセンターは、その入り口としてお勧めします。

私は、受講前は、母や母の友人の勧めもあったのに、この年齢で経験のない仕事にチャレンジして大丈夫かとためらっていました。職業訓練を受講して、希望の会社に入社できました。自分でも大きなことをしたなと思います。この年齢でも遅くはありませんでした。

あきらめたら、もったいないです。ポリテクセンターは、「できない」を「できる」に変え、夢をかなえてくれるところです。積極的に動いてください。

■取締役社長 村井 正己 様と上司の方にお話を伺いました。

◇U様の採用の決め手は？

- 一 弊社の採用試験は、数学などの筆記試験と面接です。筆記試験の基準点を満たさず、面接に至らないことがあります。Uさんの場合、「入社したい」という気持ちが強く、また、職業訓練で技術を学んでいるので、直属の上司となる者の意向も汲み、採用試験だけで採否を決めずに企業実習を経て決めることにしました。
- 一 私は県の職業訓練を受講して、弊社に入社しました。だから、受講した方のレベルがだいたいわかっているなので、採用試験だけで判断せず、企業実習の受け入れをお願いしました。

企業実習で、本人の「やりたい」という気持ち、知識・技術のレベル、人柄を確認することができました。ご本人の希望と弊社が求める人材とがマッチしていたことが、採用の決め手です。

◇今後、U様に期待していることは？

- ー アルミの溶接は現在1名なので、その先輩に続いて一人前になって欲しいと思っています。多能工化が進んでいるので、溶接だけでなく、製缶もできる作業員になってもらいたいし、T i g 溶接やM i g 溶接の資格を取得してもらいたいと考えています。

◇職業訓練が仕事に役立っていることは？

- ー 職業訓練を受講した方は、知識や技術を習得しているので、入社後の伸びが受講していない方と違います。私は、職業訓練を受講しているときは学科の必要性を感じていませんでしたが、実際に仕事をすると、それぞれの知識がつながりました。

職業訓練は、雇用保険を受給しながら受講できるので、安心感があり、知識をじっくりと学べる時間がある点でメリットがあると思います。また、他の業界・職種からの転職の場合は、企業実習は実際の職場で仕事が体験できるので、メリットがあると思います。

◇企業実習で気を付けることは？

- ー イチから教えるので、企業にとっては負担が大きいです。1ヶ月の企業実習を終えてから、思っていたのと違うと言われると困るので、ミスマッチにならないように、実習前にお互い十分に確認しておく必要があります。

◇採用にあたり、重視していることは？

- ー ものづくりが好きなおことと、仕事に対する意欲があることです。
- ー 企業実習がなければ、採否の判断ができるのは採用試験の結果しかありません。1ヶ月間の企業実習で意欲を十分に確認することができました。

◇女性の採用については？

- ー 溶接では、女性の採用は今回が初めてです。今後、女性を採用していく方針です。事務室には女性用のトイレがありますが、工場棟にはないので、設置を検討しています。

Uさんを採用して、作業の改善にもつながりました。男性だけなら、少々重い物は、クレーンを使わないで手で持ってしまうますが、女性の場合はそういう訳にはいきません。男性でも繰り返し持つと体に負担がかかります。誰でも作業できる環境や仕組みをつくらないと、これからは通用しないと思います。

また、役員からは、「社員の士気が上がった。女性をもっと採用して欲しい。」とされています。

◇男性と女性で違うなと思われることは？

- ー 男性は仕事が粗く、女性は細やかな傾向があります。弊社で扱う材料は、3年前にアルミが7割、鉄が3割になりました。アルミの溶接は繊細で、手順を踏まないときちんと溶接できません。Uさんは、今担当している作業は、男性社員と同

じ数の加工ができています。

◇就職活動中の方や職業訓練の受講を検討されている方にメッセージをお願いします。

- 一 自分がどうしたいかを公言すること。言わなければ、誰にもわかってもらえません。公言することで、どうすれば実現するかを自分なりに考えるし、周囲の人からも助言してもらえます。他人任せにすると、破たんをきたします。覚悟を持って、自分の意思を周りの人に伝えてください。

山陽鉄工株式会社

本 社：岡山県倉敷市片島町 1010-1

創 業：1947年1月

資 本 金：1,000万円

従業員数：59名（平成30年2月1日現在）

事業内容：航空機部品・特殊機械部品・大型アルミ高品位部品及び大型精密機械部品の
製缶、溶接、切削加工

（取材後記）

Uさんは小柄な女性ですが、入所されたときから「溶接がしたい」と強く希望されていました。就職先もご自身で探されました。数学が苦手で、採用されないのではないかと心配されていましたが、訓練を担当している職業訓練指導員から「企業実習で頑張ればいい」と背中を押され、あきらめずに挑戦されました。

どちらかという口数は少なく、取材先でもブースで黙々と作業されている姿が印象に残りました。

<2018年1月>